

## 「森林総合研究所東北支所一般公開・公開講演会」に出展しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 東北北海道整備局

平成29年10月14日(土)、当機構森林総合研究所東北支所(岩手県盛岡市)において、「一般公開・公開講演会(主催:森林総合研究所東北支所・森林総合研究所材木育種センター東北育種場・森林整備センター盛岡水源林整備事務所)」を開催し、盛岡水源林整備事務所と東北北海道整備局が出展しました。

当日は、予報に反し厚い雲に覆われた肌寒い日となりましたが、多くの皆様にご来場いただき、盛況なイベントとなりました。

一般公開では「森を知る」をテーマに、野外自然観察会や、ドローンによるフライトシミュレーション体験、マツノマダラカミキリとのふれあい体験などの体験イベントのほか、展示コーナー、相談コーナー、クイズラリーなどが出展されました。

当センターは、水源林造成業務を紹介したパネル展示を行い、業務をPRするとともに、「自然木を利用した鉛筆やボールペンづくり」や「木への樹木漢字当てクイズ」のブースを出展しました。

「鉛筆やボールペンづくり」では、慣れない手つきながら鉛筆やボールペンを完成させて喜ぶ子供達や家族連れで大変賑わいました。

また、「漢字当てクイズ」でも、子供達だけでなく樹木に詳しい幅広い年代の皆さんが挑戦され、難問を次々に正解すると周りから歓声が起るなど、大いに盛り上がりました。



【鉛筆やボールペンづくり】



【木への漢字当てクイズ】

公開講演会では、3機関合同で4題の講演を行い、森林整備センターは「水源林造成業務の仕組み」をテーマに、分収造林契約の方式や事例紹介、公益的機能の評価、新たな技術の紹介及び獣害対策などについて説明しました。

会場には環境問題を専攻する大学生も熱心にメモを取りつつ聴講いただき、「非常にわかりやすい説明で、森林整備センターの役割が良く理解できた」との感想があり大変好評でした。



【公開講演会】

今後もこのような活動を通じて、森林の大切さを理解していただくとともに、木に親しんでいただく機会を作ってまいりたいと思います。